

# 滋賀銀行 会社説明会

2019年9月25日  
株式会社 滋賀銀行（8366）  
頭取 高橋 祥二郎



# I. 滋賀銀行の概要

II. 2019年3月期決算の概要

III. 第7次中期経営計画の概要

IV. 重点施策



# 滋賀銀行の概要

社会につくす  
人には親切  
自分にきびしく  
行是

(1966年制定)



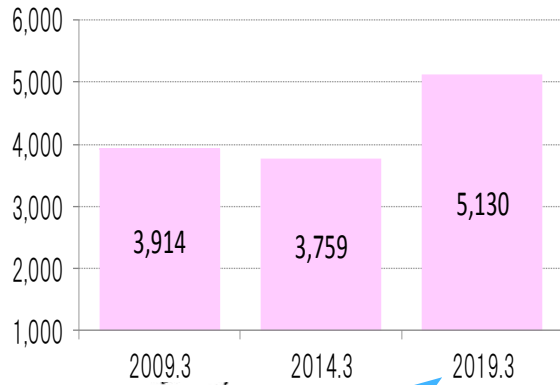
(2007年制定)

設 立	1933年(昭和8年)10月1日
歴 史	1879年(明治12年) 第百卅三国立銀行設立 1881年(明治14年) 八幡銀行設立 1933年(昭和 8年) 滋賀銀行設立
総 資 産	6兆1,004億円
従 業 員 数	2,006人(出向者除く)
店 舗 数	133カ店 (うち代理店25カ店、海外1カ店)
預 金 残 高	4兆9,525億円(譲渡性預金含む)
貸 出 金 残 高	3兆7,958億円
格 付	A+ (JCR) A+ (R&I)

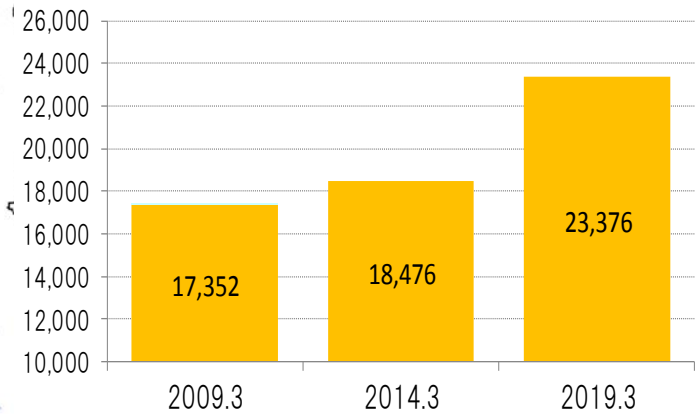
2019年3月31日現在

# 海外含む広域ネットワーク

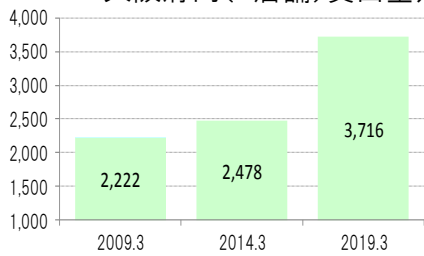
(単位:億円) 京都府内(15店舗)貸出金残高



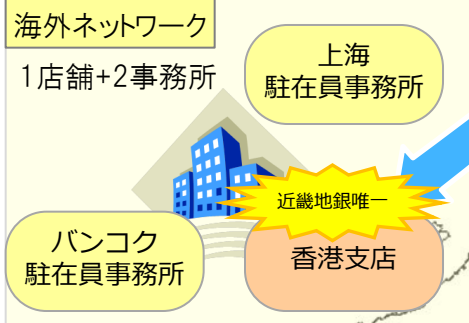
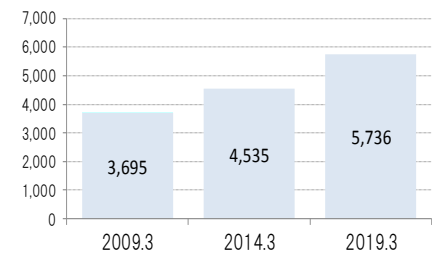
(単位:億円) 滋賀県内(106店舗) 貸出金残高



(単位:億円) 大阪府内(6店舗)貸出金残高

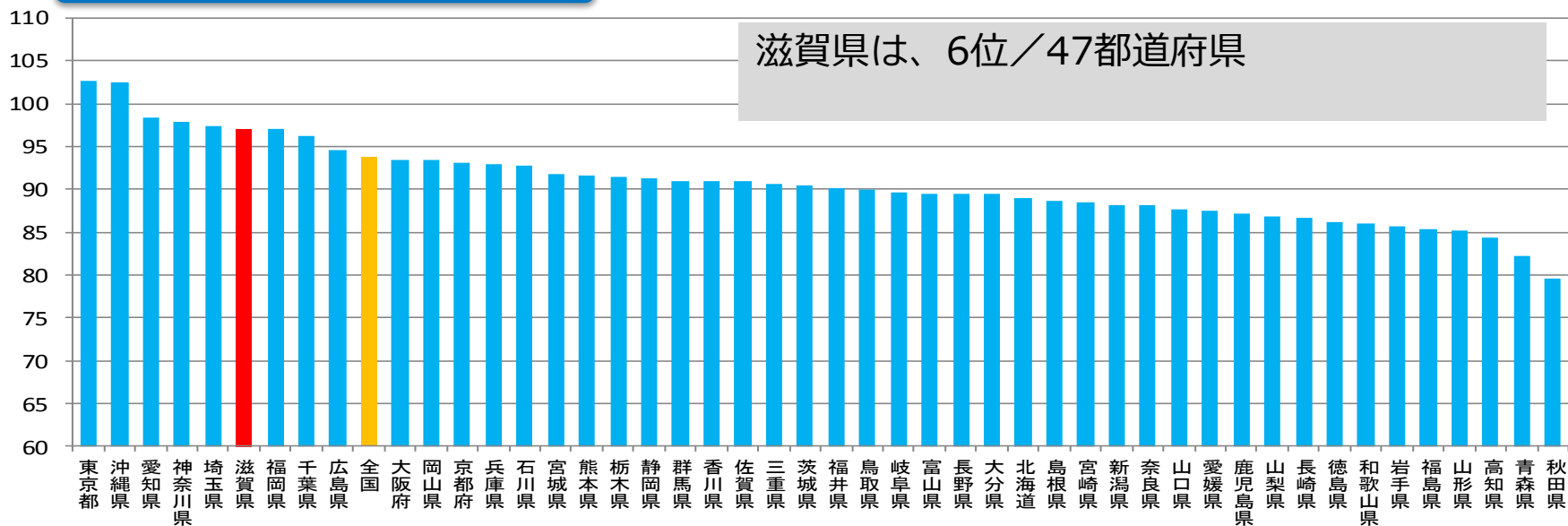


(単位:億円) 東京東海(5店舗)等 貸出金残高



# マーケットの将来性と高い県内シェア

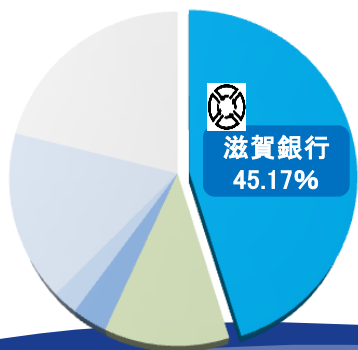
## 2030年の推計人口



出所「都道府県別総人口と指数(平成27(2015)年=100) 2018年推計値」:国立社会保障・人口問題研究所

## 滋賀県内シェア

### 預金シェア

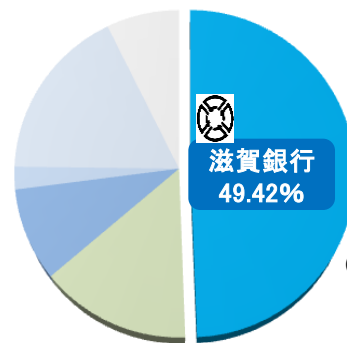


地銀での順位  
**6位/64行**

(2018年3月末現在)

(ゆうちょ銀行・  
商工中金を除く)  
(2019年3月末現在)

### 貸出金シェア



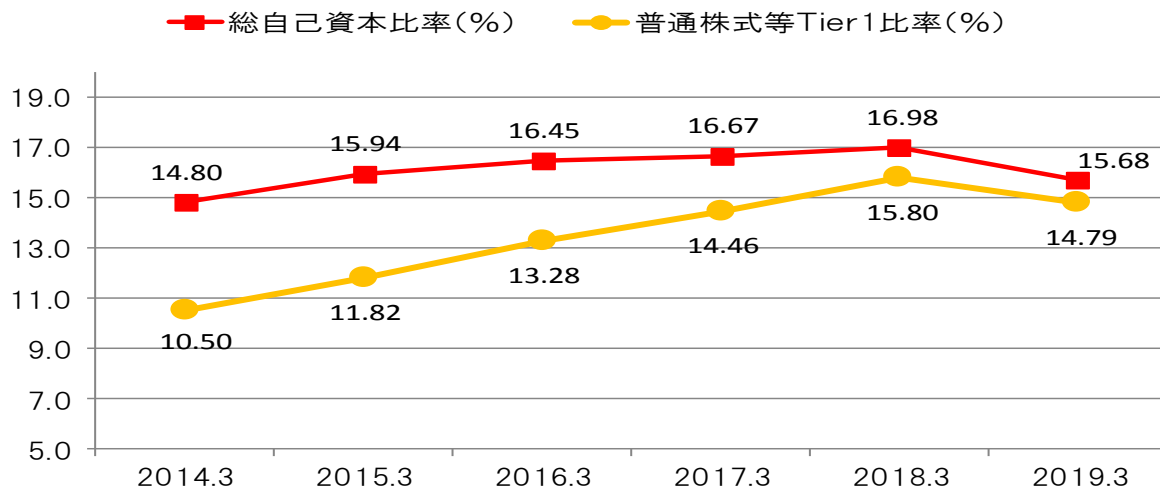
地銀での順位  
**2位/64行**

(2018年3月末現在)

(ゆうちょ銀行・商工中金・  
日本政策金融公庫を除く)  
(2019年3月末現在)

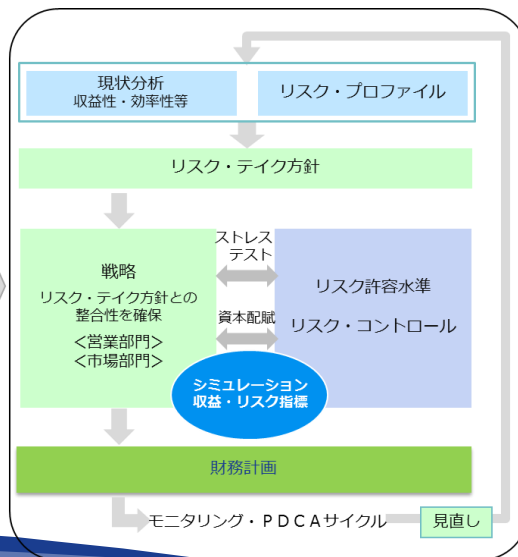
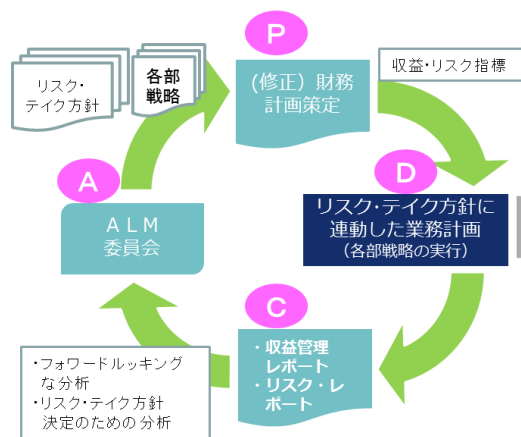
# 高い自己資本比率と高度なリスク管理

## 連結自己資本比率



＜ポイント＞  
2019.3期はリスクアセット増加と包括利益の減少により、自己資本比率は低下するも、高い水準を維持。

## リスク・アペタイト・フレームワーク



＜ポイント＞

- ・2007年3月地銀トップグループでFIRBを採用。
- ・リスク管理の高度化につとめ、収益・リスク・資本のバランスを考慮したリスク・アペタイトフレームワークを構築。

- I. 滋賀銀行の概要
- II. 2019年3月期決算の概要**
- III. 第7次中期経営計画の概要
- IV. 重点施策



# 2019年3月期決算 損益の状況

● 株式等関係損益の増加により、当期純利益は増益

□ 単体

【単位：億円】

	2018.3	2019.3	前期比
業務粗利益	548	525	① △22
資金利益	464	453	△11
うち貸出金利息	373	376	3
うち有価証券利息配当金	134	144	9
(うち投信解約益)	(1)	(-)	(△1)
うち預金等利息 (△)	15	26	10
うち 調達費用等	△28	△42	△13
役務取引等利益	67	69	2
その他業務利益	16	2	△13
経費	412	403	△8
人件費 (△)	215	204	△10
物件費 (△)	170	174	4
税金 (△)	26	24	△1
実質業務純益	135	121	△13
一般貸倒引当金繰入額 (△)	-	△1	△1
業務純益	135	123	△12
臨時損益	40	74	34
うち株式等関係損益	33	93	60
経常利益	176	198	21
特別損益	2	△0	△2
税引前当期純利益	178	197	18
当期純利益	124	142	② 17
与信コスト	3	39	35

<ポイント>

① 業務粗利益 (△22億円)

- ・ 資金利益は、貸出金利息が10期ぶりに反転するも、外貨調達コストの増加により前期比11億円減少。
- ・ その他業務利益は債券等関係損益を中心に前期比13億円減少。

<ポイント>

② 当期純利益 (17億円)

- ・ 与信コストが前期比35億円増加するも、株式等関係損益が60億円増加した結果、当期純利益は増益。

□ 連結

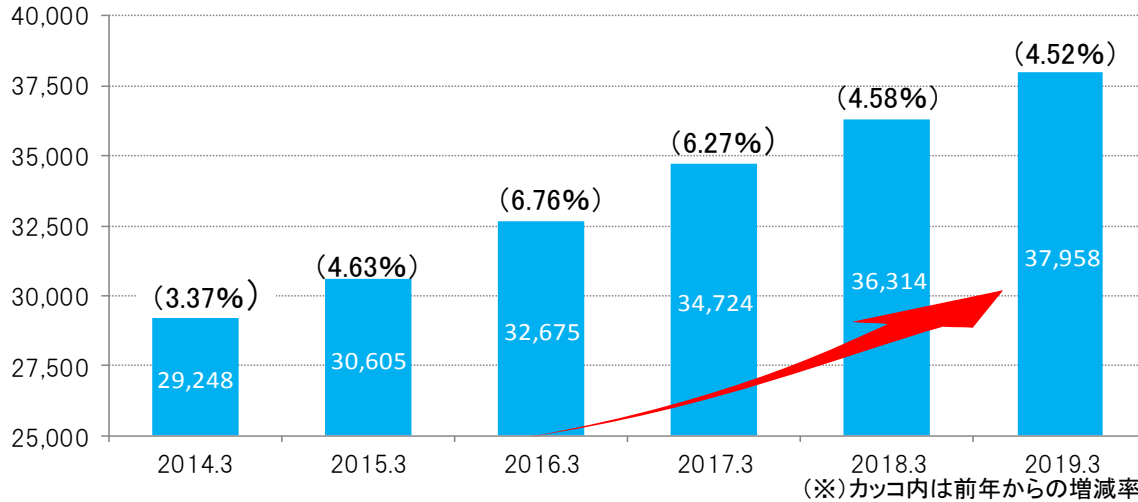
【単位：億円】

	2018.3	2019.3	前期比
経常利益	196	210	13
親会社株主に帰属する当期純利益	138	146	7

# 総貸出金残高（期末残高）

## 総貸出金残高の推移

【単位：億円】

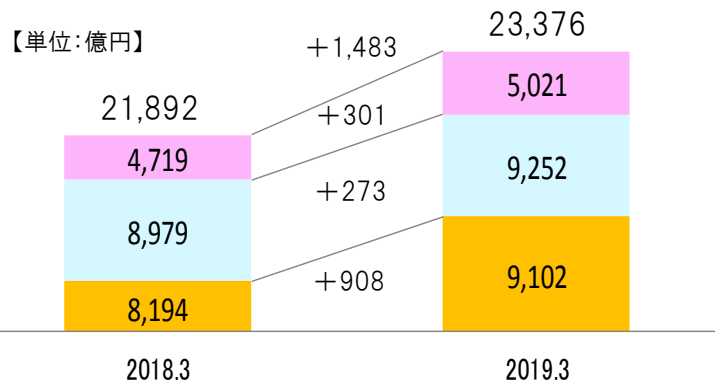


【単位：億円】

項目	2018.3	2019.3	前期比
滋賀県	21,892	23,376	1,483
京都府	4,883	5,130	247
大阪府	3,533	3,716	182
東京東海等	6,006	5,736	▲270
合計	36,314	37,958	1,643

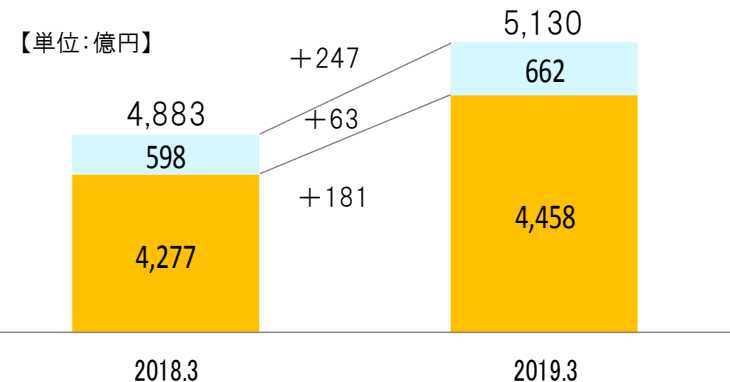
## 滋賀県内貸出増加内訳

■ 事業性貸出 ■ 消費者向け貸出 ■ 地公体その他



## 京都府内貸出増加内訳

■ 事業性貸出 ■ 消費者向け貸出



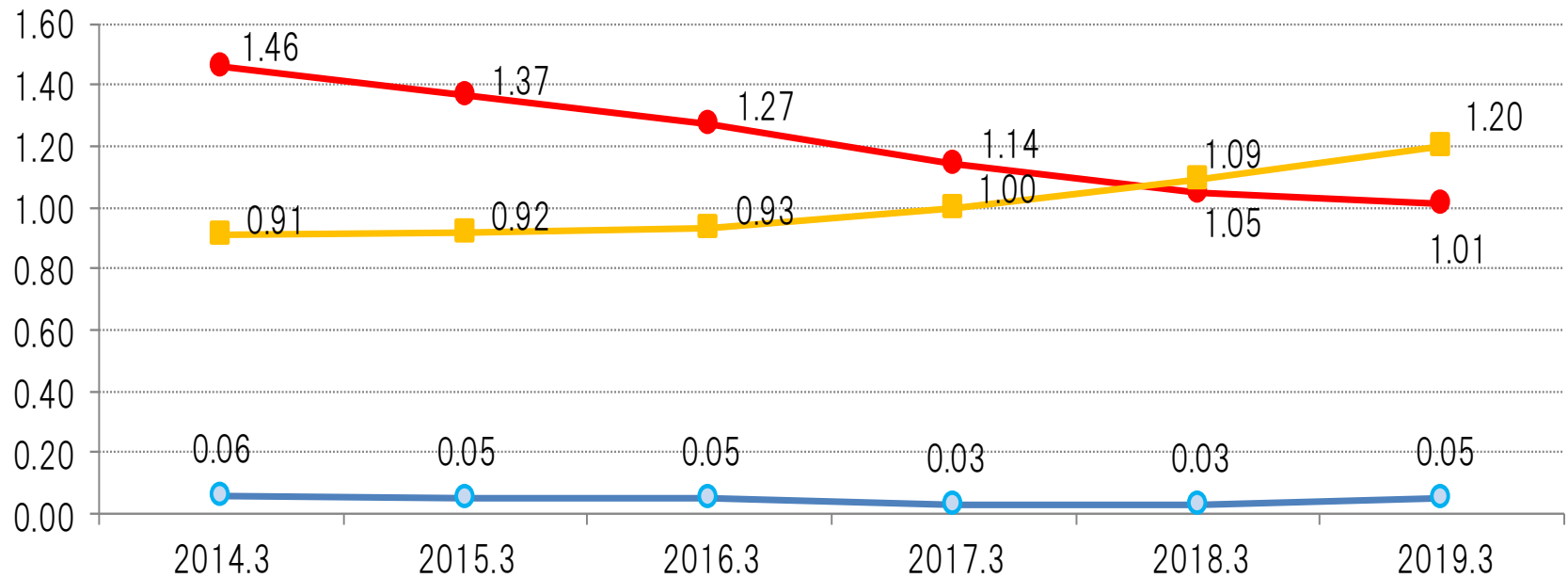
# 貸出金・預金・有価証券利回り

【単位：%】

項目	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	前期比
貸出金利回り	1.46	1.37	1.27	1.14	1.05	1.01	△0.04
有価証券利回り	0.91	0.92	0.93	1.00	1.09	1.20	0.11
預金等利回り	0.06	0.05	0.05	0.03	0.03	0.05	0.02

【単位：%】

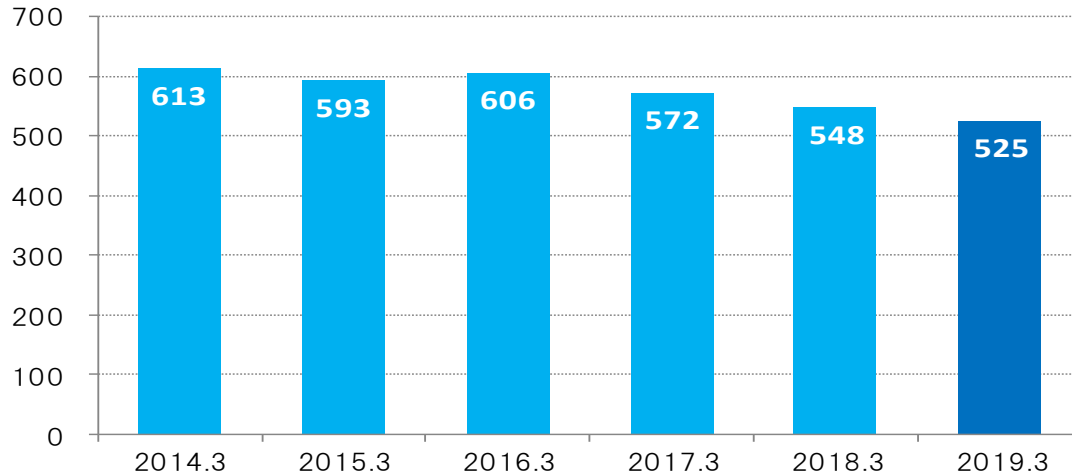
● 貸出金利回り    ■ 有価証券利回り    ○ 預金等利回り



# 業務粗利益・経費

## 業務粗利益（単体）

【単位：億円】



＜ポイント＞

業務粗利益は減少傾向。

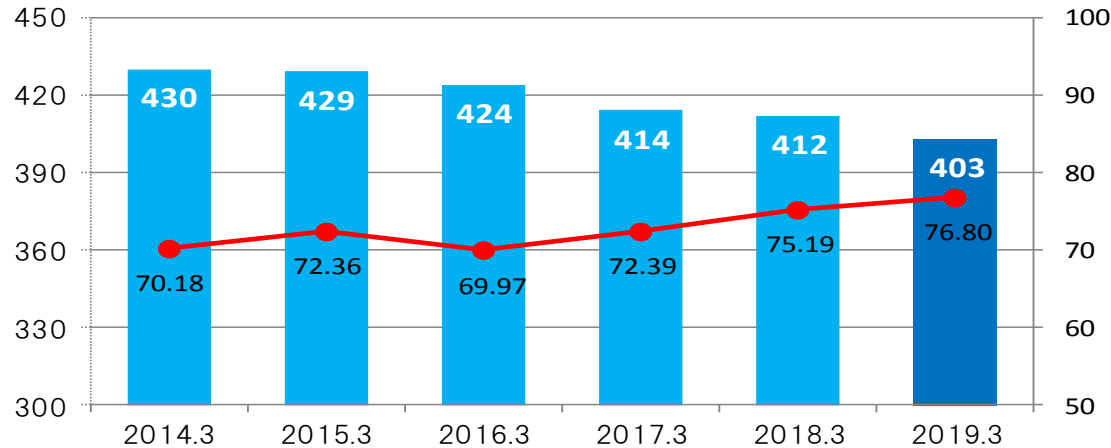
経費削減を続けているが業務粗利益減少の影響が大きくOHR（経費率）は上昇傾向にある。

## 経費

【単位：億円】

■ 経費合計 ● OHR(%) (※)

【単位：%】



(※) OHR = (経費合計 ÷ 業務粗利益) × 100%

# 与信コストとリスク管理債権の状況（単体）

## 与信コスト（単体）

【単位：億円】

項目	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3
与信コスト	30	△41	22	4	3	39
（うち引当基準見直し分）	0	0	30	0	0	12

算定期間見直し

対象先見直し

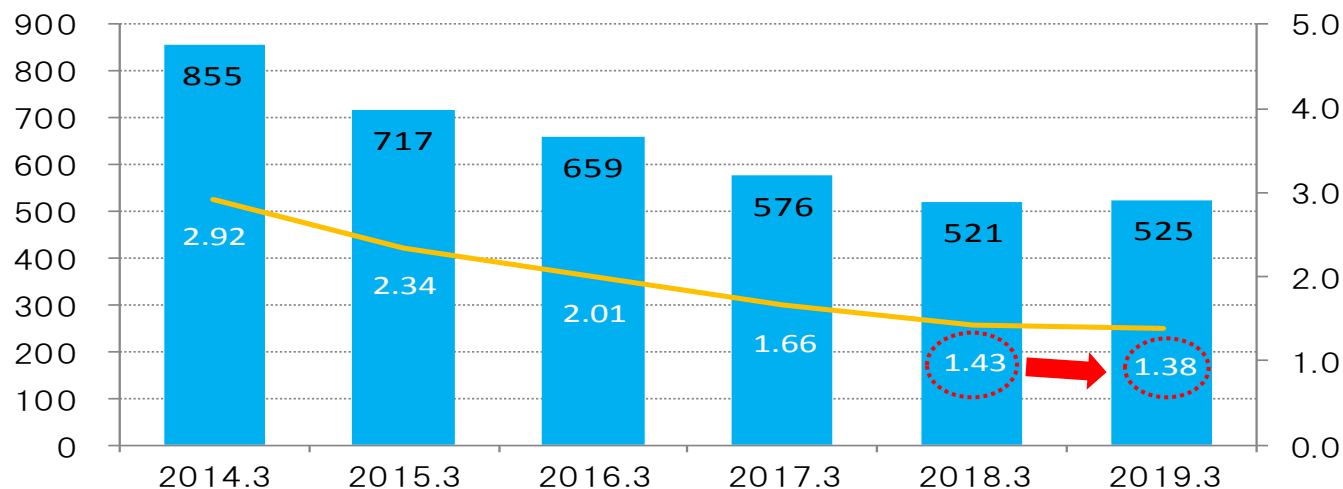
## リスク管理債権の状況

【単位：億円】

■ リスク管理債権

— 対総貸出金残高比率

【単位：％】



# 有価証券評価損益・政策保有株式簿価推移

## 有価証券評価損益

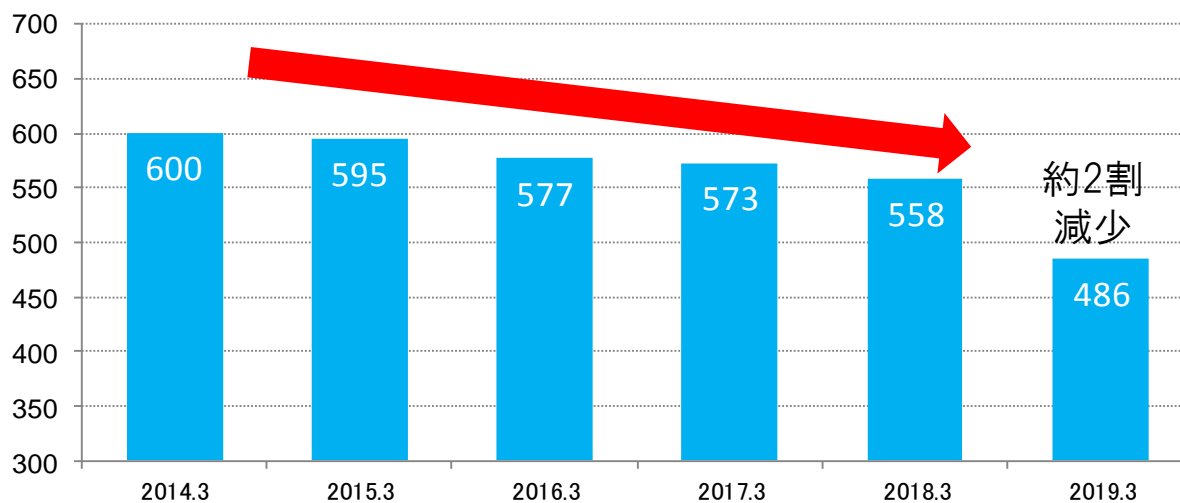
【単位:億円】

項目	2017.3	2018.3	2018.6	2018.9	2018.12	2019.3	2018.3比
満期保有目的	-	-	-	-	-	-	-
子会社株式	-	-	-	-	-	-	-
その他有価証券	1,654	2,007	2,108	2,047	1,554	1,809	△198
株式	1,545	1,941	2,066	2,069	1,519	1,668	△273
債券	135	106	80	18	75	138	31
その他	△26	△41	△38	△40	△41	2	43
【その他有価証券評価差額金】	1,199	1,444	1,514	1,472	1,127	1,300	△143

プラスに転換

## 政策保有（上場）株式簿価推移

【単位:億円】



<ポイント>

- ・その他有価証券全体で1,809億円の評価益。その他（外債・投資信託）の評価損益がプラスに転換。
- ・政策保有（上場）株式は5年前から約2割削減。

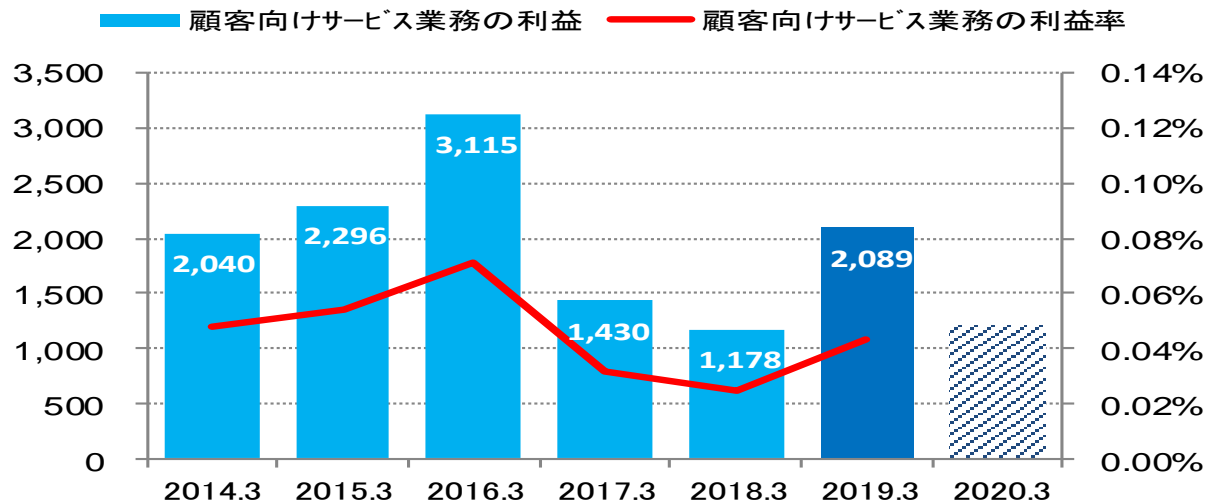
# 顧客向けサービス業務の利益

【単位:百万円】

項目	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	前期比
貸出金残高(平残)	2,848,217	2,950,003	3,124,264	3,331,685	3,532,148	3,696,767	164,619
預貸金利回り差 (%)	1.40	1.32	1.22	1.11	1.02	0.96	△0.06
（貸出金利回り）(%)	1.46	1.37	1.27	1.14	1.05	1.01	△0.04
（預金等利回り）(%)	0.06	0.05	0.05	0.03	0.03	0.05	0.02
役務取引等利益	5,992	6,595	6,792	6,503	6,735	6,978	243
営業経費	43,827	43,239	41,793	42,055	41,585	40,378	△1,207
<b>顧客向けサービス業務の利益</b>	<b>2,040</b>	<b>2,296</b>	<b>3,115</b>	<b>1,430</b>	<b>1,178</b>	<b>2,089</b>	<b>911</b>
預金残高(平残)	4,222,895	4,278,438	4,379,941	4,467,114	4,630,494	4,803,984	173,489
顧客向けサービス業務の利益率(%)	0.048	0.054	0.071	0.032	0.025	0.043	0.018

【単位:百万円】

【単位:%】



## <ポイント>

- ・ 役務取引等利益の増加  
営業経費削減により顧客向けサービス業務の利益は前期比9億円の増加。
- ・ 2020.3期についても黒字維持を見込む。

# 2020年3月期 業績予想（損益計算書）

●2020年3月期は、当期純利益で21億円の減少を見込む。

□単体

【単位：億円】

	2019.3	2020.3 見込み	比較
業務粗利益	525	520	① △5
資金利益	453		
役務取引等利益	69		
その他業務利益	2		
経費 (△)	403	417	② 13
人件費 (△)	204		
物件費 (△)	174		
実質業務純益	121	102	△19
一般貸倒引当金繰入額 (△)	△1	△3	△2
業務純益	123	106	△16
臨時損益	74	12	③ △62
経常利益	198	120	△78
特別損益	△0	49	④ 49
当期純利益	142	120	△21

<ポイント>

- ①調達コストの増加等により5億円の減少を見込む。
- ②システム関連投資等により13億円の増加を見込む。
- ③株式売却益を中心に、臨時損益は62億円の減少を見込む。
- ④名古屋支店の店舗売却による特別利益を見込む。

□連結

【単位：億円】

	2019.3	2020.3	比較
経常利益	210	130	△80
親会社株主に帰属する当期純利益	146	123	△23

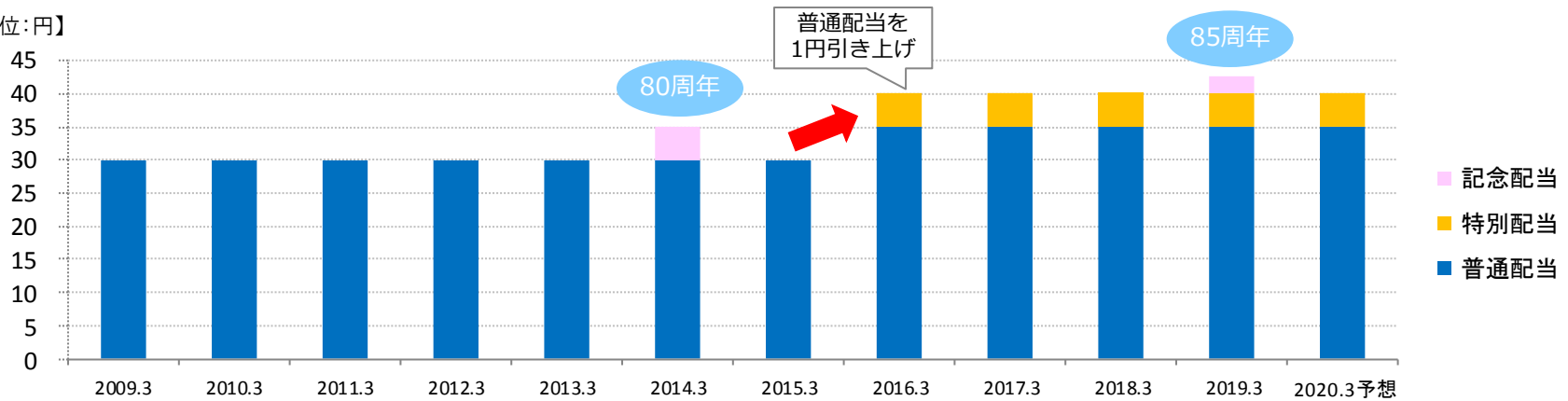
与信コスト 39 21 △17

# 株主還元

7次中計期間中の配当方針：安定的な配当（普通配当年間35円）を維持しつつ、業績動向に応じて特別配当を検討。

項目	2009.3	2010.3	2011.3	2012.3	2013.3	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3 予想
連結当期純利益(億円)	△162	43	46	82	55	110	136	155	148	138	146	123
配当総額(億円)	15.8	15.8	15.8	15.8	15.8	18.4	15.7	20.8	20.8	20.8	21.9	—
1株あたり年間配当金(円)	比較のため株式併合(2018.10実施)後の年間配当金額で記載											
	30	30	30	30	30	35	30	40	40	40	42.5	40.0
(うち 普通配当)	30	30	30	30	30	30	30	35	35	35	35	35
(うち 特別配当)	0	0	0	0	0	0	0	5	5	5	5	5
(うち 記念配当)	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	2.5	0
連結配当性向(%)	—	36.6	33.9	19.2	28.6	16.7	11.6	13.4	14.0	15.0	15.1	16.6

【単位:円】



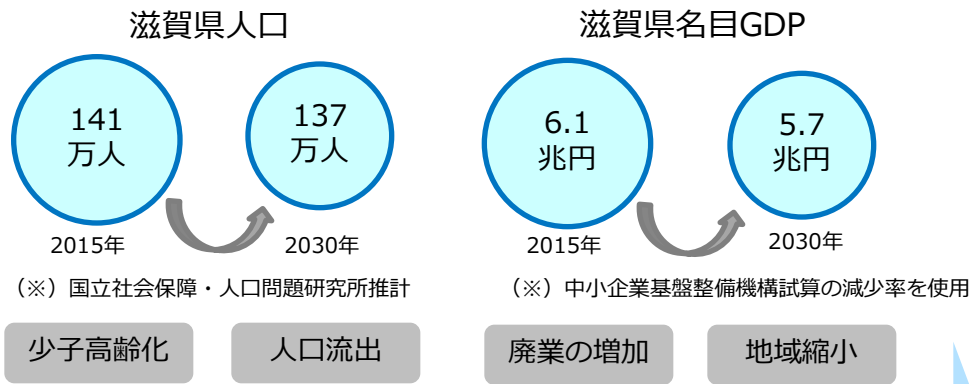
(※) 2018.10株式併合後の水準で記載

- I. 滋賀銀行の概要
- II. 2019年3月期決算の概要
- III. 第7次中期経営計画の概要**
- IV. 重点施策



# 地域の課題解決

## 地域の課題



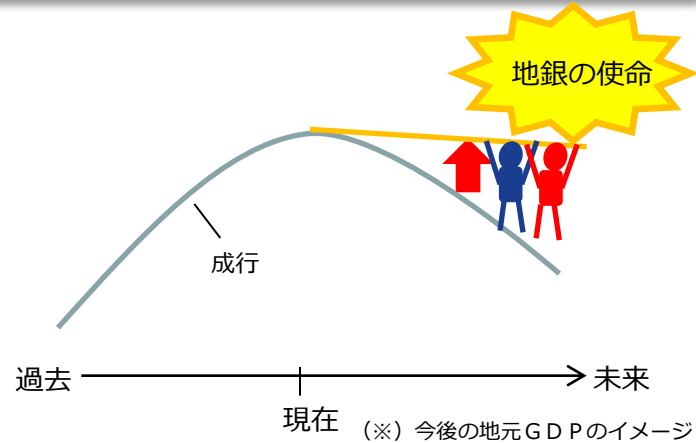
地域の悩みは、当行の課題  
地域の課題に正面から向き合う

## 当行の課題

- 低金利の継続
- B/S拡大型ビジネスの転換期
- 競争激化
- 顧客ニーズの多様化
- FinTechの進展
- ライフサイクルの変化

## 地域の縮小角度を変える

社会的課題解決により地域に幸せをもたらす



- |    |         |        |
|----|---------|--------|
| 地域 | 地域連携の強化 | 新事業を創出 |
| 法人 | 事業を承継する | 売上を増やす |
| 個人 | 資産をつなぐ  | 資産を増やす |

## 重点項目（ターゲット2030）

- 地域経済の創造
- 地球環境の持続性
- 多様な人材の育成



# 第7次中期経営計画の概要

目指す姿

「Sustainability Design Company」

～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる

～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

未来創造挑戦項目

SDGsをビジネスへ

地域社会の生産性向上

課題解決型金融情報サービス業への進化

持続可能な収益  
構造への転換

考働改革  
(考え方改革、働き方改革)

経営基盤の充実（経営理念・人材・ガバナンス・自己資本・システム）

第7次中期経営計画

次期以降

2019年度 2020年度 2021年度 2022年度 2023年度 2024年度 2025年度 2026年度 2027年度 2028年度 2029年度 2030年度 2031年度 2032年度 2033年度

イベント

東京五輪

びわこ国体

大阪万博

SDGs目標

当行

オベ改完了

基幹系更改

90周年

95周年



100周年

# 第7次中期経営計画 挑戦指標

挑戦指標		2022.3 計画	2024.3 計画
SD 目標	Sustainable Development 推進投融資	(新規投融資額累計)5,000億円	
	地域顧客の価値向上サポート (年間コンサルティング相談件数)	850件	1,000件
	地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」)	2,200億円	3,000億円
	温室効果ガス排出量削減 (%) (2013年度比較の削減率)	25%削減	
	SDGs・金融リテラシーの普及・向上活動 次世代人材の育成活動	(研修等の実施人数) 5,000人	
収益 目標	親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	最終年度 100億円以上	
	顧客向けサービス業務利益	20億円	30億円

(※) SD (Sustainable Development) 目標…地域の持続的発展につなげる目標

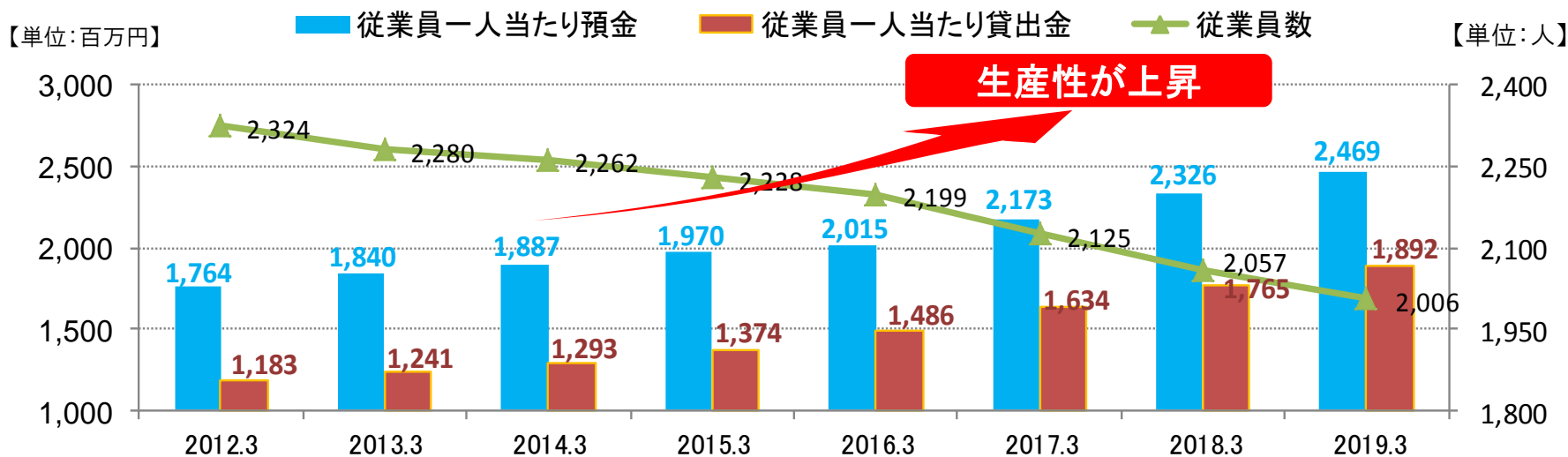
長期的挑戦指標	長期的指標
ROE (連結)	5%以上
OHR	65%未満

- I. 滋賀銀行の概要
- II. 2019年3月期決算の概要
- III. 第7次中期経営計画の概要
- IV. 重点施策**



# 生産性向上への取り組み

## 従業員一人当たり預金・貸出金



(※)従業員一人当たり預貸金 = 預貸金残高(期末残高)÷従業員数(期末)

## 店舗施策

13店舗のサイズダウンおよび統合を実施。

店舗数	2002.3	～	2016.3	～	2019.3	2019 - 2002 差額	2019 - 2016 差額
支店	117		98		95	△22	△3
出張所	22		23		13	△9	△10
代理店	2		16		25	+23	+9
合計	141		137		133	△8	△4



# お客さま利便性の向上への取り組み

## 滋賀・京都・大阪でのATMネットワーク拡大、ATM機能を充実



機能充実

通帳繰越  
機能追加

硬貨入出金  
機能追加

## 生産性向上を支えるICT基盤の拡充

### 滋賀銀行 デジタル通帳



はじめてご利用になるお客さまへ  
ご利用の前に、アプリのインストールやメールアドレス・パスワード・預金口座等の初期設定が必要です。  
※初期設定の詳細はこちらから



アプリを起動し、ホーム画面を表示します。  
確認したい通帳画面をタップすると、明細情報が表示されます。  
スマートフォンを横に傾げることで明細が横向きに表示されます。

### PayB for 滋賀銀行



### マネーフォワード for 滋賀銀行



マネーフォワードから「しがぎん」版登場!!

「しがぎん」版が登場!!  
「しがぎん」版が登場!!  
「しがぎん」版が登場!!

マネーフォワードは2018年から始めた自動家計簿・資産管理サービスです。銀行、クレジットカードなどの金融機関サイトをつないで自動で家計簿を作成します。

「銀行に行くらなくてもいい」「今月の支出はどれくらいか」といった悩みも、一括管理できちゃいます。

毎月の支出の傾向は、消費や光熱費などのカテゴリに自動で分類・グラフ化。一度登録するだけで、明細情報は定期的に自動で更新されるので、お金の管理が簡単になります。

そんなマネーフォワードから、使いやすいお家のままに、**「しがぎん」版が登場!**  
当行からお得なキャンペーン情報なども定期的にお届けします。

さあ! 便利な新しいお金の管理、はじめてみませんか?

# 課題解決型人財の育成

～人材育成テーマ「お客さま・地域社会から必要とされる行員の育成」～

- 課題解決型ビジネスができる人材を育成。行員はコンサル業務・企画業務へ。
- 個々の能力を高めるため、FP1級取得者を大幅に増加させる。

## 「課題解決型人財」育成計画

「課題解決型人財」の育成研修 延べ1,000人

コンサルタントの育成  
法人向け課題解決研修  
個人向け課題解決研修  
外部研修機関への派遣

高度専門人材の育成  
中小企業診断士  
M&A業務  
IT・FinTech関連

グローバル人材の育成  
海外トレーナー  
海外研修  
国際業務関連研修

資産運用担当者の育成  
財産プランナートレーナー  
外部派遣(投信会社等)  
行内研修

## 2019.3時点の資格等取得者数

社会保険労務士 7名

中小企業診断士 43名

グローバル人材 52名

DCプランナー1・2級 125名

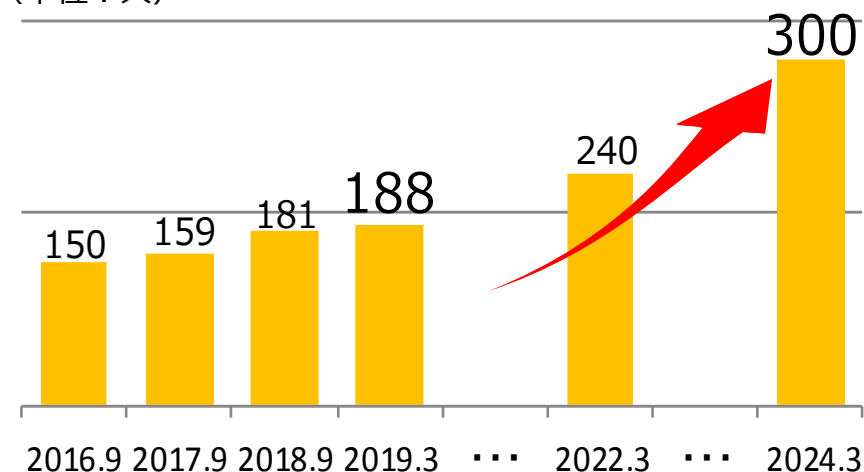
農業経営アドバイザー 5名

証券アナリスト 25名

## FP1級取得者の推移

FP1級取得者 300人

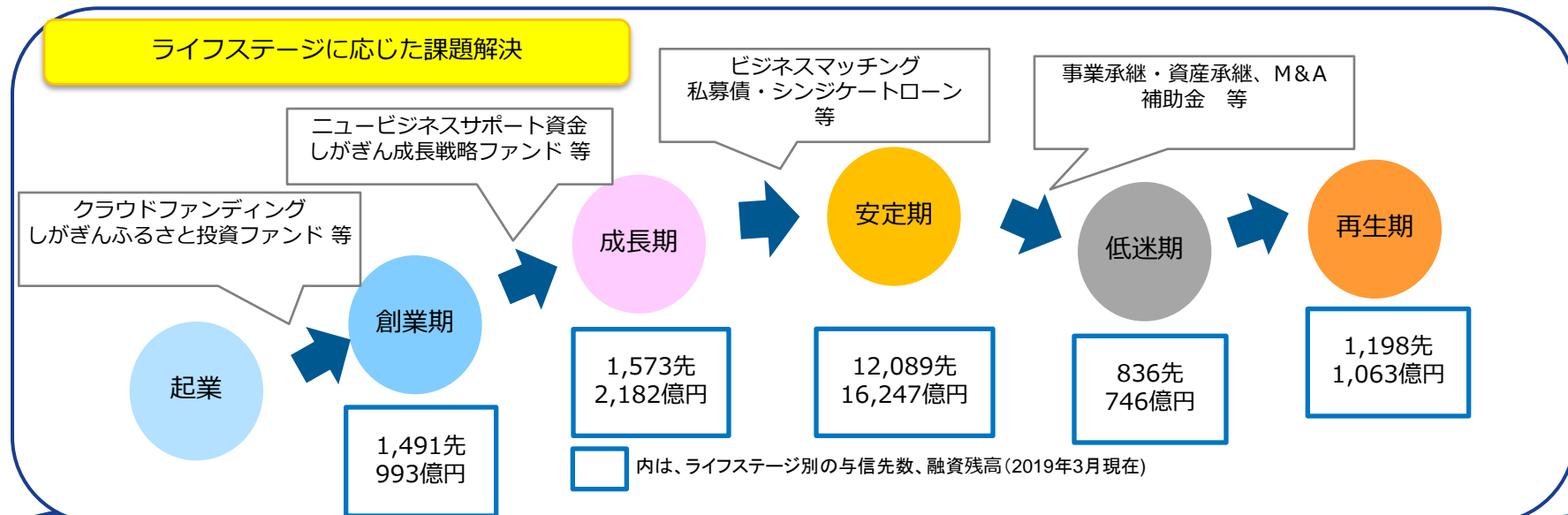
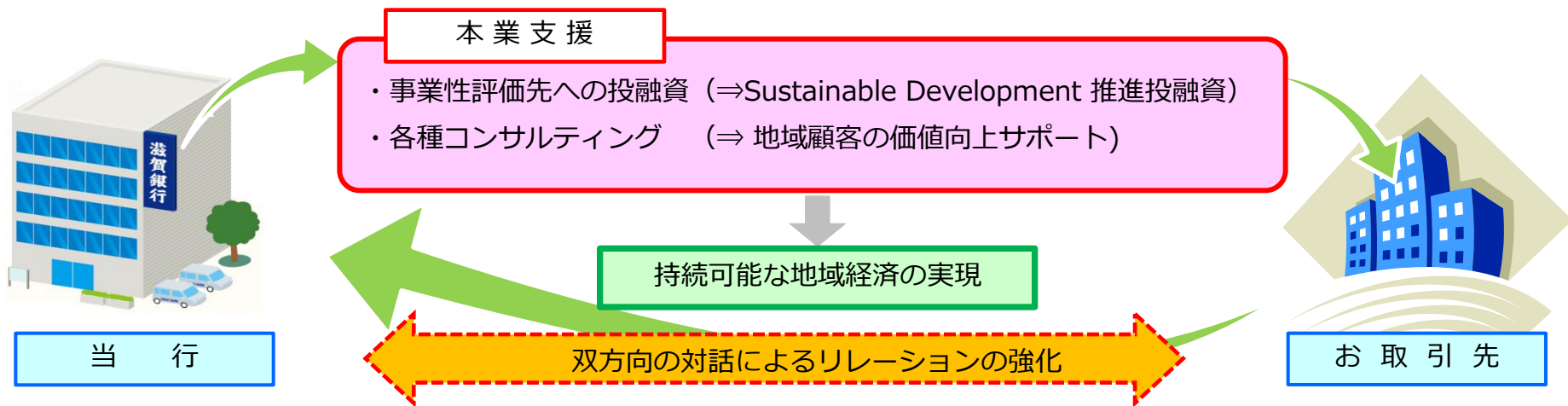
(単位：人)



(※) FP2級取得者 1,299人 (2019.3時点)

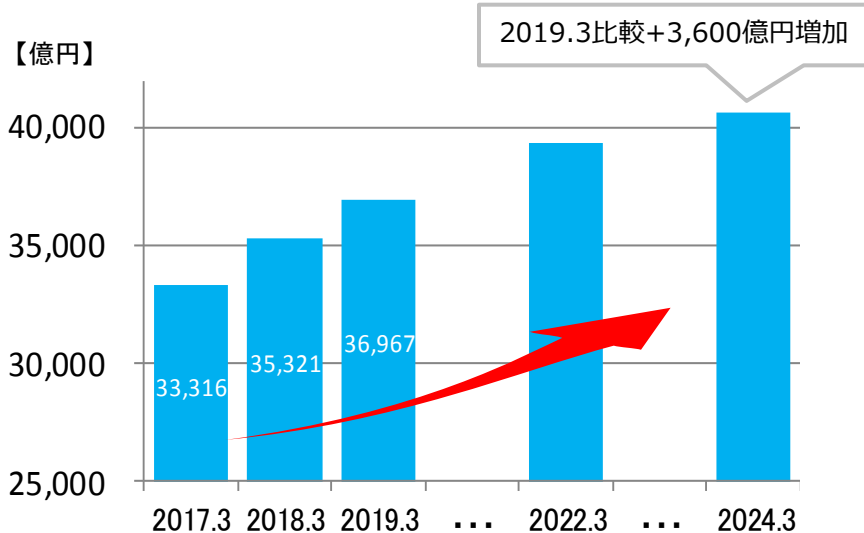
# 課題解決型ビジネス（法人向け）

本業支援：単なる資金仲介にとどまらない、持続可能な企業価値向上に資する支援



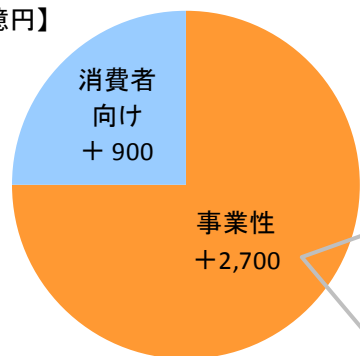
# 総貸出金・法人事業性手数料

## 総貸出金（期中平残）

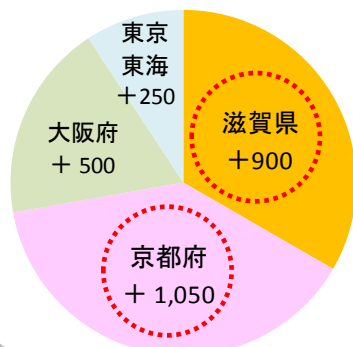


貸出金+3,600億円増加内訳

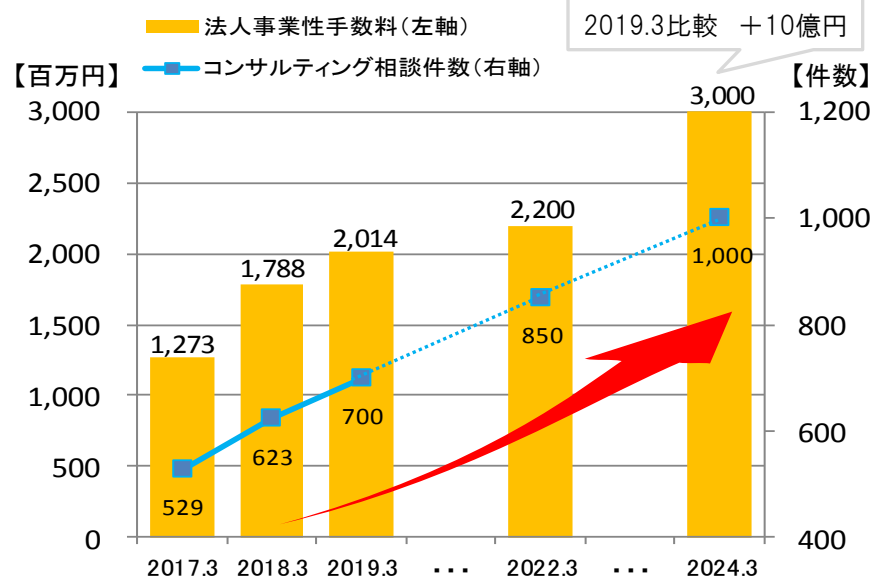
【億円】



事業性貸出の70%以上を  
滋賀・京都で増加



## 法人事業性手数料



### <ポイント>

- ・地元中小企業向けに金融仲介機能を発揮し、滋賀県・京都府中心に中小企業向け貸出を増加させる。
- ・コンサルティング相談件数を増やすことで法人事業性手数料増加に繋げる。

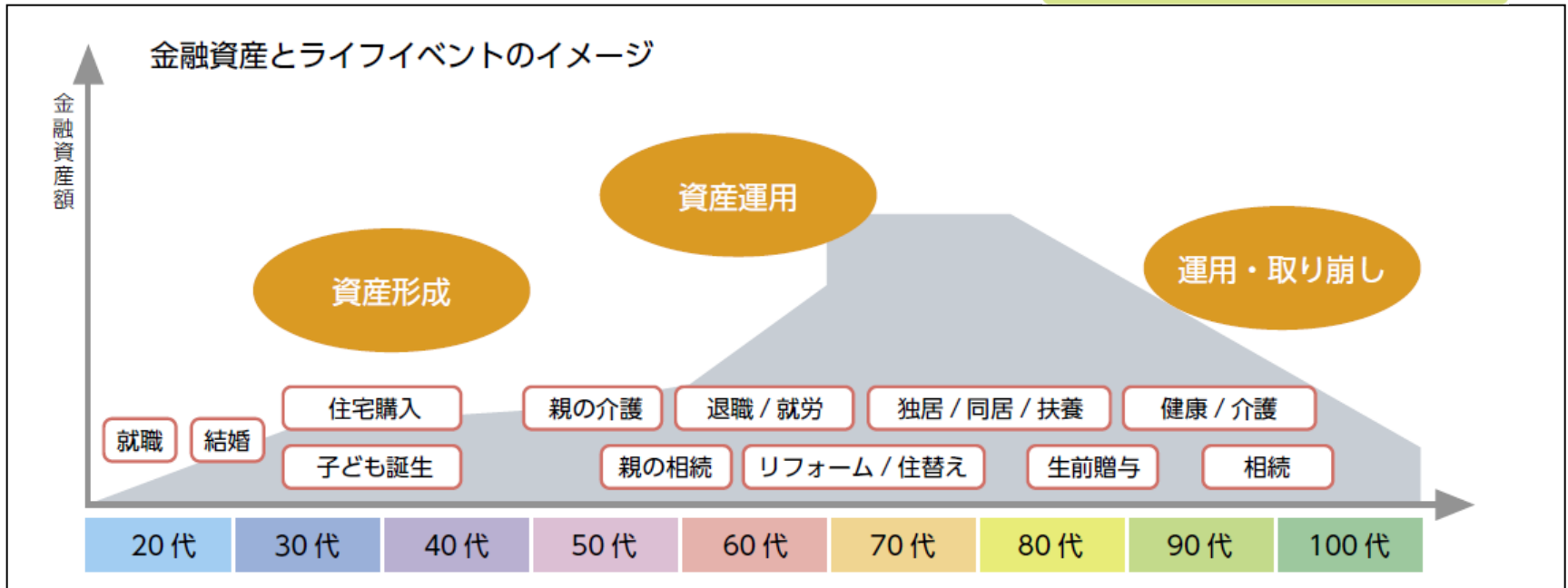
# 課題解決型ビジネス（個人向け）

お客様のライフステージに応じた課題解決に取り組みすることで  
「お客様の未来を描き、夢をかなえる」につなげていきます。

お客様のライフステージに応じた  
課題解決（ゴール・ベース・サポート）

長期的なお客さまの利益  
お客さまの資産の増大

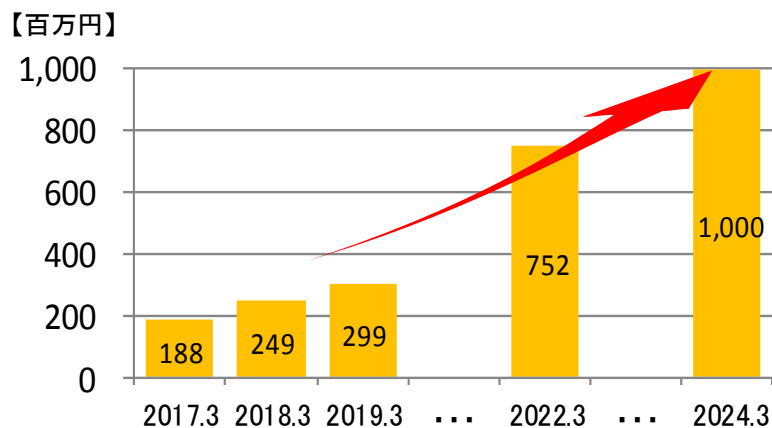
お客さま・地域・当行の  
持続的な発展の実現



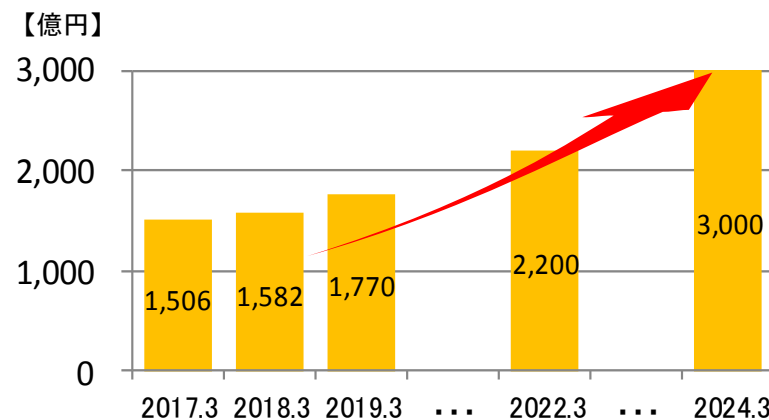
# 投資信託・金融商品仲介残高

- 「ゴール・ベース・サポート」に基づくお客さまの資産運用支援の強化。
- 長期視点での資産形成支援による**ストック型ビジネスへの転換**。

投信積立月間振替金額



投資信託・金融商品仲介残高

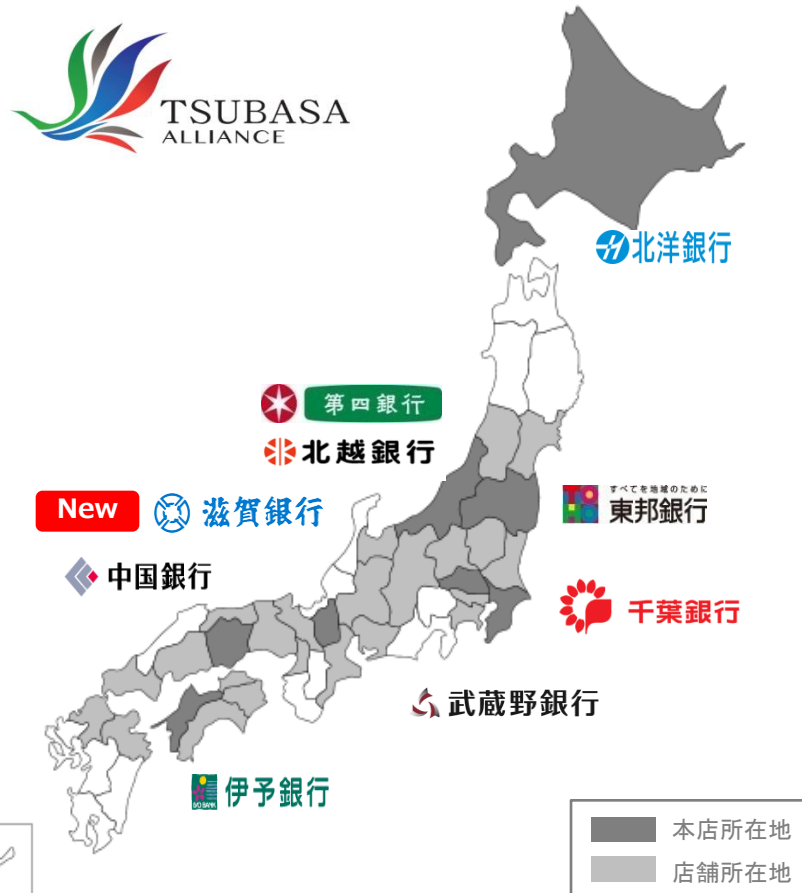


投資信託・金融商品仲介残高

項目	【億円】						
	2014.3	2015.3	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	前期比
投資信託	1,214	1,363	1,337	1,352	1,332	1,344	11
金融商品仲介	204	132	108	153	249	425	175
合計	1,419	1,495	1,446	1,506	1,582	1,770	187

# アライアンス戦略

- 2019年5月22日、TSUBASAアライアンスへ参加。
- 地銀最大のアライアンスを進化させ、さらなるシナジーを追求。



＜2019年3月期決算（連結ベース） 他行比較・総資産順＞

	総資産	預金	貸出金
三菱UFJFG	311.1兆円	180.1兆円	107.4兆円
三井住友FG	203.6兆円	122.3兆円	77.9兆円
みずほFG	200.7兆円	124.3兆円	78.4兆円
<b>TSUBASA ※4</b>	<b>65.7兆円</b>	<b>54.1兆円</b>	<b>41.8兆円</b>
りそなHD ※1	59.1兆円	51.1兆円	36.1兆円
三井住友トラストHD ※2	57.0兆円	31.9兆円	29.0兆円
TSUBASA ※3	55.0兆円	45.1兆円	34.5兆円
ふくおかFG	20.8兆円	14.0兆円	12.9兆円
コンコルディアFG	18.9兆円	15.9兆円	12.6兆円
めぶきFG	17.3兆円	14.3兆円	11.1兆円

※1 2018年4月より、関西みらいFG(関西アーバン銀行、みなと銀行)を連結対象とした

※2 2018年10月より、日本トラスティ・サービス信託銀行ほか2社を連結対象外とした

※3 2018年4月より北越銀行が加盟、10月より第四北越FGとして算入

※4 2019年3月より武蔵野銀行、5月より滋賀銀行が加盟

**合計総資産はメガバンクにつづく**

# SDGsをビジネスへ

本業を通じてSDGs（持続可能な開発目標）の推進に取り組んだ結果、様々な外部機関・団体から評価いただいています。



## 第2回「ジャパンSDGsアワード」

特別賞「SDGsパートナーシップ賞」 2018.12.21



SDGsとは  
持続可能な開発目標。2015年9月の国連サミットにおいて、2030年の達成を目指して採択された世界共通の目標。

## 日本金融通信社「ニッキン賞」 2019.2.15



## 21世紀金融行動原則 環境大臣賞（地域部門） 2019.3.6



# 水質浄化技術の活用によるSDGs事例

- 株式会社ウイルステージ（滋賀県草津市）は、平等院鳳凰堂の阿字池（宇治市）や円覚寺の妙香池（鎌倉市）の水質を浄化した実績を持つ。
- 当行は「**ニュービジネスサポート資金（SDGsプラン）**」第1号を実行し、持続可能な社会に貢献する事業をサポート。
- 同社はさらに、水質浄化技術を応用した陸上養殖事業に挑戦。当行は「**しが6次産業化ファンド**」を通じた出資により支援。



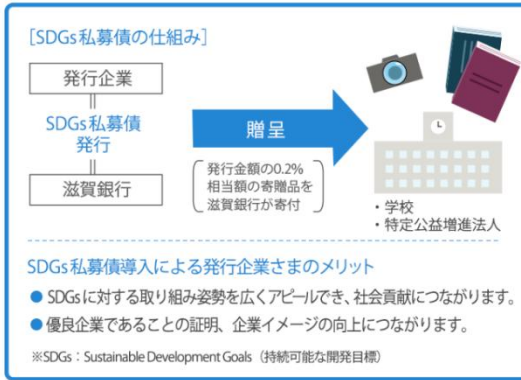
写真) ウイルステージHP



写真) ウイルステージ提供

# 本業を通じたSDGsの推進

## SDGs私募債「つながり」



例えばこんな支援が可能に！



## 『しがぎん』ニュービジネスサポート資金

『しがぎん』  
ニュービジネス  
サポート資金

～事業の可能性を“花”と咲かそう～

地域に咲くビジネスをサポートすることが『しがぎん』の願いです。

未来に美しい花（ビジネス）を咲かせるために—  
『しがぎん』は“成長性”や“将来性”をサポートします。

ご利用いただける方

- 下記1.および2.に該当する中小企業・個人
1. 原則として創業後1年以上の業歴を有し、成長が見込まれる創造的事業を営んでいる方
  2. SDGsの趣旨に賛同し、「持続可能な社会づくり」に貢献可能な社会的課題の解決につながる事業を営んでいる方

## しがぎんSDGsビジネス・マッチングフェア2019

SHIGA BANK

しがぎん SDGs  
ビジネス・マッチングフェア2019

日程 2019/7/23(水) 10:00～17:00 会場 びわ湖大津プリンスホテル  
コンベンションホール会議室

SDGs

BUSINESS MATCHING FAIR

主催/株式会社滋賀銀行 / 株式会社しがぎん経済文化センター

入場無料 EGO FIRST

- ・環境に特化した当行主催の展示商談会。
- ・2008年から開催し、今年で12回目。
- ・今回より、「エコビジネス」から「SDGsビジネス」へ対象を拡大。
- ・1,519名が来場され、900件を超える商談が行われました。



# 地域社会への感謝活動

- 地域社会の皆さまへのこれまでのご愛顧に対する感謝を込めて、各地域の埋もれた歴史や伝統行事、文化、産業などのPR活動や整備活動に取り組んでいます。

地域	取り組み内容
大津	比良比叡トレイルシンポジウムの運営協力
	蘆花浅水荘の保全活動への協力
	セタシジミ・瀬田川観光遊覧船の復活事業への協力
栗東	金勝山の森林保全活動への協力
野洲	須原ゆりかご水田せせらぎの里イベントへの協力
八幡	琵琶パール復活プロジェクトの実施
	観音寺城址整備プロジェクトへの参加
彦根	佐和山城址ハイキングコース整備活動
八日市	箕作山ハイキングコースの整備活動への協力
水口	水口岡山城関連行事への協力
	長寿寺・善水寺の清掃活動への参加
湖西	琵琶湖一周のろし駅伝への協力
湖北	こだかみ茶収穫まつりへの参加
	菅山寺清掃活動への協力
京都	鴨川定例クリーンハイクへの参加
山科	山科疎水の整備活動
大阪	セレッソ大阪なでしこ公式試合への協力
東京東海	伊賀上野NINJAフェスタ2018への協力

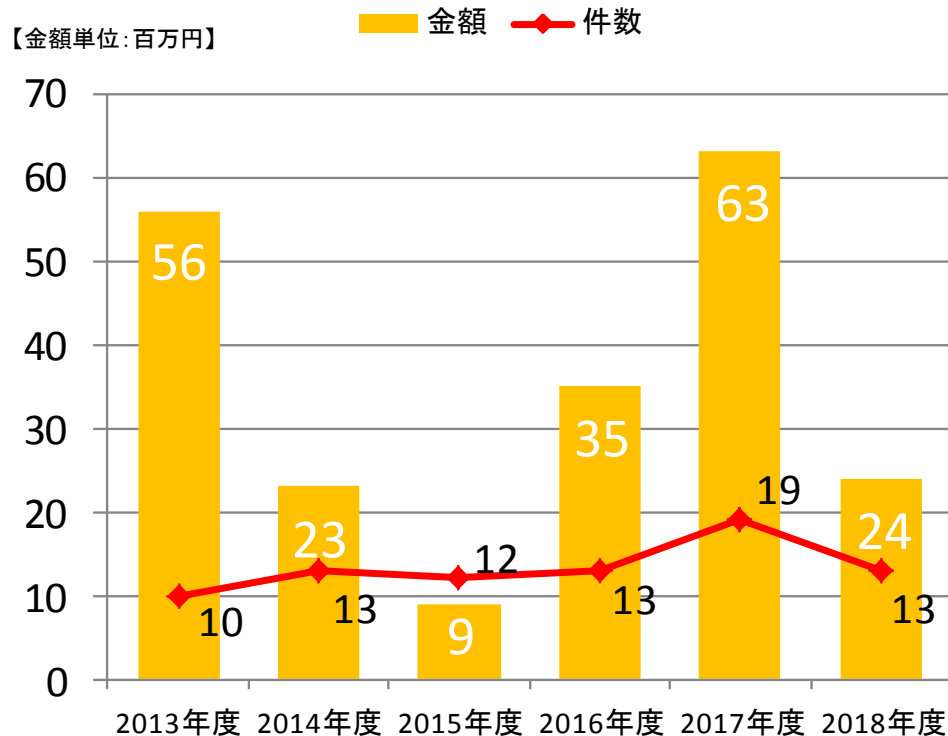


# 企業の社会的責任への取り組み

## 振込め詐欺の未然防止

特殊詐欺80件/211百万円を未然防止  
(2013年度～2018年度)

(※) 2017年の滋賀県の特種詐欺発生状況  
161件/493百万円



### 《取組内容》

1. 店頭・ATMコーナーで職員による声かけとお客さまの表情や言動などへの気配りの徹底
2. ATMコーナーやロビーへのポスター掲示
3. ホームページへ注意喚起の掲載
4. 行内研修の実施
5. 各支店での講習会の実施
6. 特殊詐欺未然防止感謝状拝受者の行内表彰と未然防止の好事例をタイムリーに全店共有
7. 警察や関係団体等との連携強化
8. 「預手プラン(※)」の導入

(※) 預手プラン

・窓口でご高齢のお客さまから多額の現金引き出しのお申し出がある場合、資金用途などの確認に加えて、お振込みや自転車小切手（預金小切手）のご利用をお勧めするもの。

社会問題化している「特殊詐欺」からお客さまの大切なご資産を守り、安心してサービスを受けていただくために様々な取り組みを行っています。

ご清聴ありがとうございました。



# 本資料に関するご照会先

本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。  
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、  
リスクや不確実性を内包するものです。  
将来の業績は、経営環境の変化などにより、  
目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

## ＜本資料に関するご照会先＞

滋賀銀行 総合企画部 経営企画グループ  
電話 077-521-2200  
FAX 077-521-2890  
ホームページ <https://www.shigagin.com/>

